

1 学習に興味・関心をもち、主体的に学ぶ力が身に付くように

- 表現活動の機会を充実させた表現力の育成
 - ◆話したり書いたりしたくなるような学習課題になるよう方法を工夫します。
 - ◆発表の場や方法を工夫するなどして、表現の幅を広げていきます。
- 興味・関心が高まるような学習環境の整備
 - ◆「はい～です。」や敬語、話型など、言語環境を整備し、丁寧な言葉遣いを指導します。
 - ◆教室内に既習事項を掲示し、新しい学習に向かう時の参考にできるようにします。
- 漢字の定着率を高めるため、「戸三小・漢字検定」の実施
 - ◆自分で目標をもって漢字の力を高められるよう、2学期と3学期に漢字検定を行います。
- 習熟度別指導やチームティーチングを活用した指導
 - ◆3年～6年の算数で、習熟度に応じた指導を実施する予定です。※教員配置を調整中です。
 - ◆各学年の学習状況、理解度を見ながら、支援員等によるチームティーチングを行います。
(5・6年家庭科はチームティーチング)

2 豊かな心を育み、将来の夢や希望につながるように

- あいさつやマナー・礼儀の指導
 - ◆1日の始まりは気持ちの良いあいさつから。自分からあいさつできる子を育みます。
- 読書活動を充実させた豊かな心の育成
 - ◆学期ごとの読書週間の時に、全校朝会などを利用した取組を行います。
- 道徳授業を充実させ、考え、議論する授業づくり
 - ◆指導方法を工夫し、自己を振り返り、深く考えることができるようにします。
- 環境教育、ボランティア教育の推進
 - ◆4年生の神田川ファンクラブや地域清掃等を通して、環境教育やSDGsを推進していきます。
 - ◆お年寄りや障害者の方と一緒に何ができるかを考え、継続的に交流できるようにします。

3 健康や運動に関心をもち、体力を向上させることができるように

- 体育の授業や休み時間等を活用した体力向上
 - ◆表現力や人とかかわる力を高め、できる喜び・上達する喜びを味わえるようにします。
 - ◆中休みは校庭遊びを奨励します。また、「なわ跳び旬間」「持久走旬間」を設定し、基本的な動きが身に付くようにします。
- 運動の専門家による指導やPTAと連携した活動
 - ◆冬季にPTAと連携した「長なわ大会」を実施する予定です。また、PTAからいただいた「短なわ」を使って、体力の向上に努めていきます。
- 健康教育、保健指導や食育の充実
 - ◆バランスのとれた食事、食材や栄養、食の楽しさ、食への感謝を学ぶ機会をつくります。

4 地域・保護者との協働、関係機関等と連携を通して、子供たちをより良く育むために

- 地域人材や、ボランティアの方々への活用
 - ◆地域協働学校として、地域・保護者の皆様のご協力をいただきながら、「学習支援部」「安全安心支援部」「環境美化支援部」の3つの組織で取り組んでいきます。
- 教育情報の共有等、関係機関等との連携
 - ◆下落合図書館や戸塚地域センター、区の相談室、家庭支援センター等との連携を行います。
 - ◆スクールカウンセラーや相談室の相談員、医師等と連携していきます。